

【DIW塾】社内報告会レポート アズビル金門（株）様

2014年3月17日（月）に、昨年秋から半年間実施した「DIW塾」の受講生による、「社内成果報告会」が、アズビル金門（株）内で開催されました。冒頭に弊社代表取締役 岡田康子より「女性活躍推進による企業イノベーション」と題した講演を行った後、受講生二名によりそれぞれが担当した事業アイデアの発表を行いました。どちらも子育て中の母親が直面する問題にフォーカスした事業アイデアでした。受講生からは

- ・人に動いてもらうためには、自分自身が頑張っていないと駄目だと思っていた。今回、半年間という時間的な制約がある中でも、ここまでのことができるということを示すことができたのではないかと思う。
- ・会社に入ってから間もなく20年になるが、人前で発表するような機会はこれまでほとんどなかった。この半年間はチャレンジしている自分を実感することができた。このような機会を与えてもらったことに感謝している。

など、DIW塾参加により、今後の仕事への自信を深めた様子が語られました。

当報告会は、経営層だけでなく社員にも広く呼びかけ、一般社員の参加もありました。事業アイデア発表後の意見交換では

- ・自分自身のニーズから始まった事業アイデアであることから、積極的に動くことができたのではないかと思う。このようなテーマが、会社の中にはたくさん眠っているのではないかと感じた。
- ・会社に入るまでは会社で女性が活躍しているということを想像していなかったが、実際に活躍している方が多いのに驚いた。今日のプレゼンテーションや普段の働き方を見て、仕事と家庭の両立は大変だということが分かったが、このような塾があることを知ったので、自分も参加したいと思った。
- ・今回の話を聞いて、母親の気持ちが分かった気がする。塾の活動にも興味を持った。将来的には介護問題が発生してくると思う。働きながら介護をするといった形で、親に恩返しすることを塾の活動を通じて考えられるのではないかと思った。もし機会があればぜひ参加したいと思う。
- ・会社員の顔、奥さんの顔、母親の顔と3つの顔を持ちながら、普段の業務にプラスしてこれだけの提案をまとめたのは凄いなと感じた。
- ・時間短縮勤務の中でこれだけのことができるのであるから、フルタイムで働いている自分にももっと何かできるのではないかと感じた。もっと前向きに仕事に向かいたいと感じた。
- ・当社を希望する女性社員は増えており、実際に入社した女性社員も活躍できる能力を持った人ばかりである。本日のプレゼンテーションは素晴らしいものだったと、男性社員はみな感じていると思う。二人には今後も伸びて行って欲しいし、男性社員を追い上げるくらいの気持ちで頑張ってもらいたい。

など、二人の事業アイディアの賛辞や、今後への期待が次々に寄せられました。

最後には、社長より総括として

- ・発表資料には、悩みや苦労を垣間見ることができた。全て自分でストーリーを組んでいくというのは初めてだろうし、貴重な経験だったと思う。
- ・本日の発表を聞いて、自分もやってみたいという意見を多く聞くことができた。会社としても、そのような声を活かすことを考えていきたい。
- ・ワーク・ライフ・バランスという意味からは、男性よりも女性の方に制約が多いというのが現実だと思う。また、現事業に限らず別な視点で事業を考える良いきっかけになったのではないかと思う。

との評価をいただきました。

今回の受講生は、それぞれの所属企業で同様の報告会を実施しています。女性が自らの発想で事業を構築していくことで、これまでにない新しいサービスや付加価値を提供し、企業の成長に寄与できるという可能性を大いに感じました。

今後のDIW塾の活動にも、ぜひご期待ください。